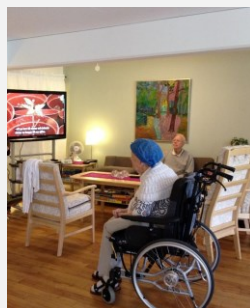


スウェーデン現地からお届けするTENAオンライン北欧視察研修 スウェーデンの認知症緩和ケア



2022年4月20日(水) 16:00~17:30

事前申込制・参加無料・Zoom開催・見逃し配信あり

本セミナーはTENAをご利用の医療・介護現場でケアに携わる方を対象としていますが、どなたでもご参加いただけます

SQC
Swedish Quality Care



エミル・オストベリさん

スウェーデン・クオリティケア

北欧福祉視察コーディネーター、日本語/スウェーデン語通訳

講演内容

- ・ 福祉大国として成長してきたスウェーデンの高齢者福祉の理念とは
- ・ バルブロー・ベック・フリースが唱えた認知症緩和ケア理念と実践例
- ・ 「認知症BPSD登録システム」構築の背景と活用事例
- ・ 認知症特別住宅をオンライン訪問(録画映像で見学します)

ストックホルム大学でMBAを取得後、語学にも強い関心を持ち、早稲田大学で日本語学士号を取得。2019年までは年に数回日本を訪れ、スウェーデンの高齢者福祉や認知症ケアを専門に、大学や病院等で流暢な日本語を駆使して多くの講演を行うほか、スウェーデンを訪れる視察団のコーディネーター兼通訳としても活躍。

2020年からは「SQCオンラインセミナーチャンネル」のプレゼンターとなり現地施設とのオンライン交流を設けるなど、他にはない充実のプログラムを展開。ストックホルムに居ながらにして日本で医療や福祉に携わる多くの方の夢を叶えるべく奮闘。

最新のスウェーデン福祉情報をご希望の方には情報配信(登録制)も行っている。

<https://www.swedishqualitycare.jp/>

“寝たきり老人のいない国スウェーデン”のあたりまえを 問題解決の突破口に

認知症の周辺症状のある方には時に活動性を制約するような手段が講じられ、状況が長引くと当事者や親族のみならずスタッフにとっても心苦しい問題になり得ます。こうした場合のQOLについて福祉大国ではどのような対策がなされているのでしょうか。スウェーデンでは2010年よりBPSD登録システムの運用が始まり、各施設内で認知症の行動心理症状を知り、改善するために評価し、国家ガイドラインに沿ってケア計画を立てるという一連のサイクルが確立され効果が出ています。ある介護スタッフの方は「測定方法がなければ達成できない」と、このシステムに信頼を寄せているのも印象的でした。外に出られないように鍵をかける、拘束着を着せる、手を紐で縛る・・・このようナリスクへの備えが求められるときスウェーデンの自己決定がどのようにして成立しているのか、一例でも多く解決し成功するためにエミルさんからスウェーデンのケア流儀を学びたいと思います。

ケアの構造化

データベース活用

認知症緩和ケア教育



詳しい内容やお申込みはコチラ！
TENAウェブセミナー開催情報
www.academy.tena.co.jp/seminar